

---

## COVID19 対策が透析施設看護師のストレスに与える影響

---

医療法人衆和会 長崎腎病院

○手島和代 中村麻美 植木秀一 津久田健太 佐藤泰崇 田中健 林田征俊 丸田麻莉絵 原田孝司  
船越哲

### 【背景・目的】

当院での職業性ストレス調査票において、過去2年間の結果と比べると2020年9月の調査で高ストレス者の割合が増加し、特に看護部の増加が顕著であった。コロナ禍において、当院でもCOVID-19対策をガイドラインに準拠した厳格な感染対策を行っており、COVID19がストレスにどのように影響しているか調査した。

### 【対象・方法】

全職員を対象とした過去3年間(2018~2020)の職業性ストレス調査票を集計・分析する。

### 【結果】

2020年調査で特異的な点は、「ストレスの原因と考えられる因子」のうち「職場環境によるストレス」が有意に低下( $p=0.0102$ )した一方、「ストレスによっておこる心身の反応」の「不安感」が有意に上昇( $p=0.0188$ )し、また「身体愁訴」が有意に上昇( $p<0.001$ )した。

### 【考察】

「職場環境によるストレス」が低下している一方で、「不安感」・「身体愁訴」が増加していることと、2020年でCOVID-19流行以外の就業環境は変わっていないことより、結論付けることは難しいが、メディアからの情報に加えて、職場の感染対策などCOVID-19が看護師の「不安感」に影響しているものと推測される。